

■コメント

1 インフルエンザ

定点当たり24.00人の報告があり、増加が続いています。また、インフルエンザ様疾患による学級閉鎖等は37件の報告がありました。手洗いの励行、咳エチケット、換気などの感染予防対策を徹底しましょう。

迅速診断キット検査結果(市内2か所の協力医療機関による)
第50週 A型:178人、B型:0人

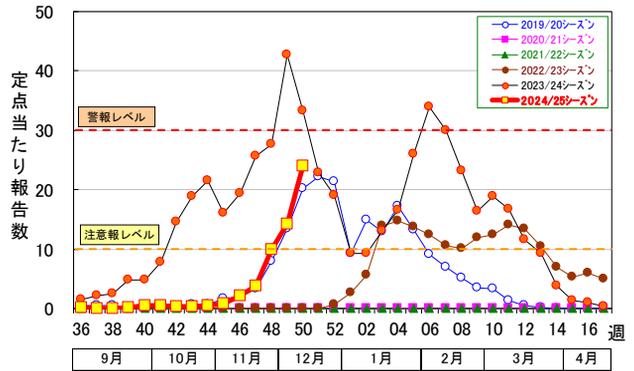
2 感染性胃腸炎

定点当たり4.83人の報告がありました。例年12月から翌年1月に流行のピークとなる傾向があります。手洗いの徹底、便・吐物の適切な処理など、感染予防対策に努めましょう。

3 新型コロナウイルス感染症(COVID-19)

定点当たり1.69人の報告がありました。手洗いの励行、咳エチケット、換気などの感染予防対策に取り組みましょう。

インフルエンザの流行状況(広島市)



■定点把握感染症報告状況(週報対象)

定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	過去5年間(注)	発生記号	定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	過去5年間(注)	発生記号	急増減		前週と比較しておおむね1:2以上の増減											
												↑	↓												
インフル	インフルエンザ	864	24.00	10.71	↗	小児科	ヘルパンギーナ	2	0.09	0.36			報告数が少数の場合などは、発生記号を記載していません。												
	新型コロナ(COVID-19)	61	1.69		↔		流行性耳下腺炎	1	0.04	0.05															
小児科	RSウイルス感染症	11	0.48	0.08		眼科	急性出血性結膜炎	1	0.13	0.03			<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td>増減</td> <td>↗</td> <td>↘</td> <td>前週と比較しておおむね1:1.5~2の増減</td> </tr> <tr> <td>微増減</td> <td>↔</td> <td>↔</td> <td>前週と比較しておおむね1:1.1~1.5の増減</td> </tr> <tr> <td>横ばい</td> <td>↔</td> <td></td> <td>ほとんど増減なし</td> </tr> </table>	増減	↗	↘	前週と比較しておおむね1:1.5~2の増減	微増減	↔	↔	前週と比較しておおむね1:1.1~1.5の増減	横ばい	↔		ほとんど増減なし
	増減	↗	↘	前週と比較しておおむね1:1.5~2の増減																					
	微増減	↔	↔	前週と比較しておおむね1:1.1~1.5の増減																					
	横ばい	↔		ほとんど増減なし																					
	咽頭結膜熱	6	0.26	1.54		流行性角結膜炎	5	0.63	0.48																
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	42	1.83	1.69	↔	基幹	細菌性髄膜炎	-	-	-															
	感染性胃腸炎	111	4.83	5.61	↗		無菌性髄膜炎	-	-	0.03															
	水痘	3	0.13	0.23			マイコプラズマ肺炎	31	5.17	-	↘														
	手足口病	8	0.35	0.88			クラミジア肺炎(オウム病を除く)	-	-	-															
伝染性紅斑	2	0.09	0.13		感染性胃腸炎(ロタウイルス)		-	-	-																
突発性発しん	7	0.30	0.34																						

■全数把握感染症報告状況

類型	疾患名	報告数	累計	備考
2	結核	3	100	40歳代、70歳代、90歳代
5	アメーバ赤痢	1	4	40歳代
5	急性脳炎	1	8	10歳未満
5	クロイツフェルト・ヤコブ病	2	4	60歳代、80歳代
5	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1	19	50歳代
5	後天性免疫不全症候群	1	8	20歳代・エイズ
5	侵襲性肺炎球菌感染症	2	13	10歳未満、60歳代
5	梅毒	3	158	30歳代・2人、40歳代・1人
5	百日咳	4	38	10歳未満・1人、40歳代・2人、50歳代・1人

■ 定点把握感染症報告状況(週報対象)の推移

報告数	広島市	週	インフルエンザ	新型コロナウイルス(COVID-19)	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎	(口タウウイルス)	感染性胃腸炎	
																							80
		第46週	138	21	3	9	42	78	11	23	1	2	4	1	-	7	-	1	47	-	-		
		第47週	356	47	9	6	41	102	5	10	2	5	4	-	-	7	-	-	29	-	-		
		第48週	515	61	5	7	42	95	8	14	1	4	-	1	1	8	-	-	36	-	-		
		第49週	864	61	11	6	42	111	3	8	2	7	2	1	1	5	-	-	31	-	-		
		第50週	2.22	0.97	0.26	0.30	1.83	4.96	0.22	0.96	-	0.13	0.17	0.04	-	1.38	-	-	9.67	-	-		
		第46週	3.83	0.58	0.13	0.39	1.83	3.39	0.48	1.00	0.04	0.09	0.17	0.04	-	0.88	-	0.17	7.83	-	-		
		第47週	9.89	1.31	0.39	0.26	1.78	4.43	0.22	0.43	0.09	0.22	0.17	-	-	0.88	-	-	4.83	-	-		
		第48週	14.31	1.69	0.22	0.30	1.83	4.13	0.35	0.61	0.04	0.17	-	0.04	0.13	1.00	-	-	6.00	-	-		
		第49週	24.00	1.69	0.48	0.26	1.83	4.83	0.13	0.35	0.09	0.30	0.09	0.04	0.13	0.63	-	-	5.17	-	-		
		第50週	4.86	2.42	0.27	0.34	2.58	3.85	0.29	2.75	0.89	0.28	0.06	0.03	0.02	0.63	0.03	0.03	2.28	0.01	0.01		
		第48週	9.03	3.07	0.31	0.40	2.61	4.35	0.31	1.95	0.92	0.26	0.05	0.04	0.02	0.71	0.02	0.04	2.29	-	0.01		
		第49週																					

■ STD(性感染症)・基幹定点報告状況(月報対象)の推移

報告数	広島市	月	STD(性感染症) 定点												基幹定点									
			性器クラミジア感染症			性器ヘルペスウイルス感染症			尖圭コンジローマ			淋菌感染症			メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症			ペニシリン耐性肺炎球菌感染症			薬剤耐性緑膿菌感染症			
			総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女	
		10月	31	30	1	11	7	4	11	10	1	10	8	2	21	13	8	0	0	0	0	0	0	0
		11月	18	15	3	7	5	2	8	7	1	7	6	1	20	16	4	0	0	0	0	0	0	0
		10月	3.44	3.33	0.11	1.22	0.78	0.44	1.22	1.11	0.11	1.11	0.89	0.22	3.50	2.17	1.33	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		11月	2.00	1.67	0.33	0.78	0.56	0.22	0.89	0.78	0.11	0.78	0.67	0.11	3.33	2.67	0.67	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		11月	2.39	1.19	1.20	0.76	0.30	0.46	0.51	0.34	0.18	0.65	0.50	0.16	2.53	1.61	0.92	0.17	0.09	0.08	0.01	0.01	0.00	0.00

定点数 STD定点 9 基幹定点 6

【参考】 海外に行く場合は、感染症予防も忘れずに！

年末年始には海外に渡航される方も多くなることが予想されます。海外では、日本で感染しないような感染症にかかることがあります。安全で快適に旅行し、帰国できるよう、感染症予防を心がけましょう。

◆ 渡航前には

渡航先で流行している感染症の情報を事前に入手し、ワクチン接種など、注意すべき事柄を確認しましょう。

◆ 帰国時・帰宅後に体調が悪くなったら

空港や港に設置されている検疫所では、渡航者の健康相談を受け付けています。帰国時に発熱や下痢、具合が悪いなど体調に不安がある場合は、他の人への感染を予防するためにも検疫官に相談しましょう。

また、感染症には潜伏期間が長いものもあり、帰国後しばらくしてから症状が現れることがあります。その場合は速やかに医療機関を受診し、渡航先、滞在期間などの情報を伝えましょう。ただし、エボラ出血熱や中東呼吸器症候群(MERS)などが疑われる場合は、受診する前に最寄りの保健センターにご相談ください。

詳しくは下記ホームページをご覧ください。

海外に行く場合は、感染症予防も忘れずに！（広島市）

<https://www.city.hiroshima.lg.jp/soshiki/72/2982.html>



海外へ渡航される皆様へ（厚生労働省）

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryou/kenkou/kekaku-kansenshou18/index_00003.html



厚生労働省検疫所(FORTH)(厚生労働省検疫所)

<https://www.forth.go.jp/index.html>



本週報は、速報性を重視していますので、今後調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。なお、感染症情報の詳細についてはホームページでご覧いただけます。

<https://www.city.hiroshima.lg.jp/site/infectious-disease/>



【問い合わせ先】

広島市感染症情報センター/広島市衛生研究所 〒733-8650 広島市西区商工センター四丁目1番2号

TEL(082)277-6575 FAX(082)277-5666 E-Mail ei-seikatsu@city.hiroshima.lg.jp